



「ご近所」の力を活かし、定住の自信につなげる

おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム（OFP）とネクストステージ

特定非営利活動法人 アジア人文文化交流促進協会



目次

JII紹介

JIIが着目する課題とオリジナルの取り組み

ネクステージ～今後のJIIのとりくみ

JII紹介：ビジョン・ミッション・活動指針

ビジョン

Japan Intercultural Intelligence (JII) は、**多様性を活かした「文化共生」の理想を実現**するための団体です。「文化共生」とは——人々がそれぞれの文化の良さを保ちながら、様々な文化の持つ素晴らしさを楽しむ、互いにとって暮らしやすい「良き隣人」として共に生きる、素晴らしい文化同士の出会いによって、**新たな公共文化や価値を創造**することです

ミッション

外国人住民が日本での生活になじみやすくする

活動の特徴

外国人住民への深い理解

外国人住民の立場、心境、行動特徴に基づき、必要かつ本質的なサポートを行い、日本社会での自立を支える。

市民主役

一般市民が主体となって、外国人住民と日常的に広く関わることで、共生に関わる実体験や経験を育む。

リアルに関わる

日本人住民と外国人住民が直接関わる機会を多く作り出し、リアルな経験によって新たな公共文化や価値を創造する。

継続的な信頼関係

一過性の表層的な交流にとどまらず、相互理解を深め、中長期に渡り助け合いのできる信頼関係の構築を目指す。

活動の進化

東京都外国人支援助成事業



即興劇による意識啓発公演

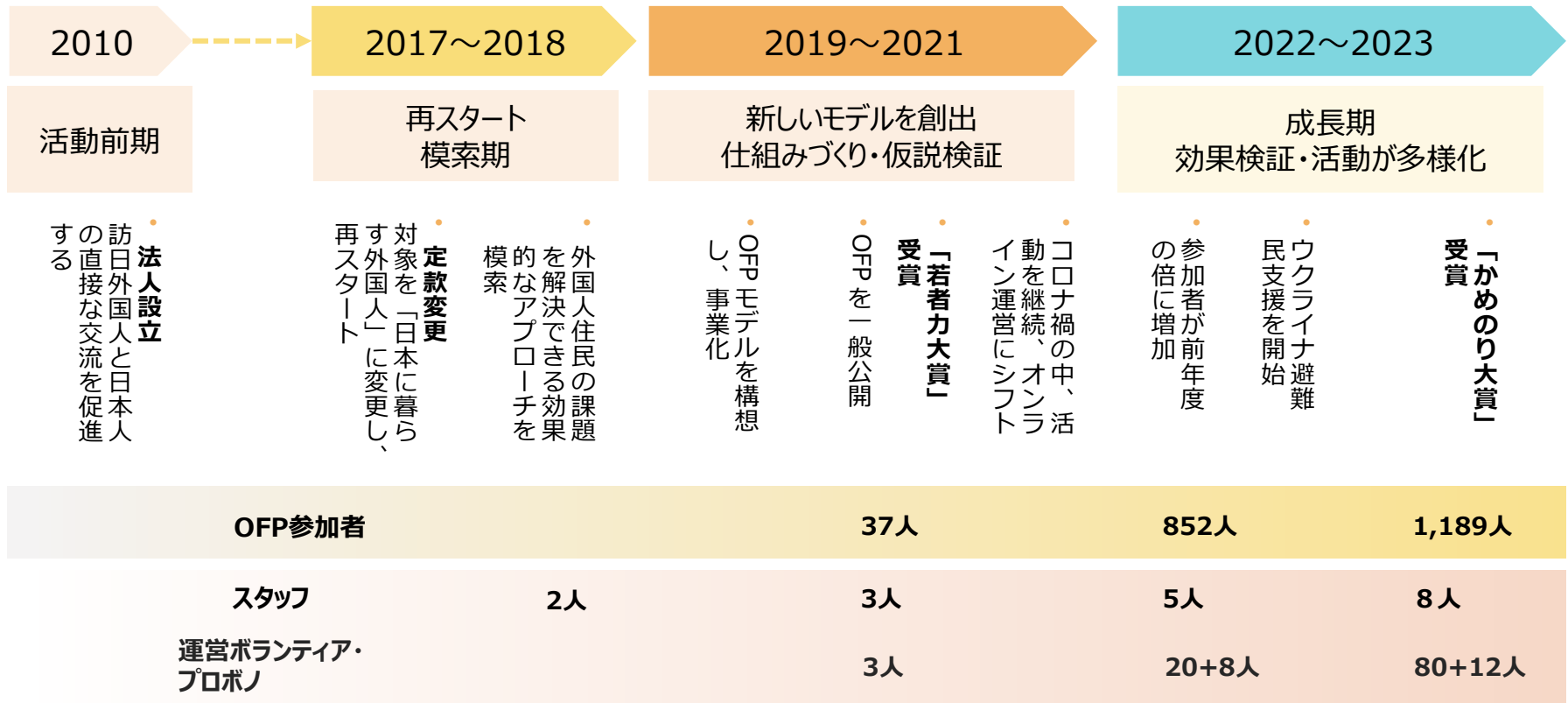


専門家による多言語子育て相談会

OFPを日本で初めて立ち上げ



所在地：東京都目黒区
活動範囲：東京都 + 近隣県
(神奈川・千葉・埼玉など)



受賞・助成実績



2019年
第11回「若者力大賞・ユースリーダー支援賞」受賞



2023年
第17回「かめのり大賞・草の根部門」受賞

助成（一部）



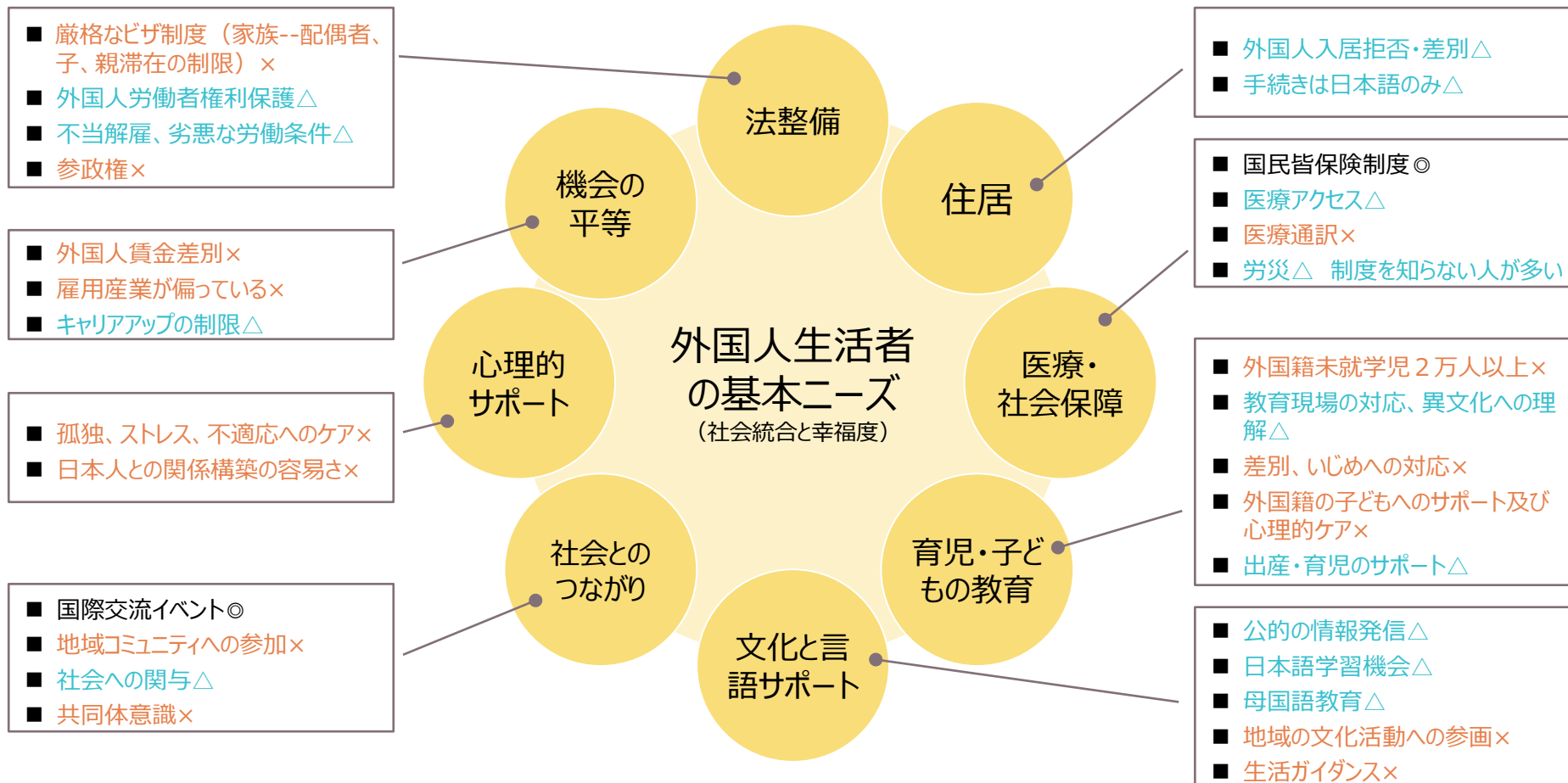
JIIが着目する課題とオリジナルの取り組み

おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム（OFP）紹介

共生までの「距離」 --現状--

移民政策をとらない…
そのうち帰るから…

長年、生活者としてのニーズが放置されてきた



我々が取り組む課題 「情報不足」と「孤立」の解消

様々な暮らしにくさの根底にある課題に取り組む

中長期在留者数は331万人（令和6年6月時点）

2040年予想 674万人必要（JICA,2022）

2070年予測 日本人口8,700万人、外国人が1割超（国立社会保障・人口問題研究所,2023）

- 制度・社会システムにアクセスできない（医療、教育、福祉など）
- 日本語学習機会の不足（生活情報得づらい、親子間コミュニケーション危機）
- 生活習慣・文化の壁（日常のトラブルやプレッシャー）
- 妊娠、出産、育児の困難（サポート得られない、産後うつ率が高い）

情報不足

- 地域との断絶（日本人コミュニティに入れない）
- 学校・園での差別やいじめ
- 子育て外国人世帯の孤立
- 人間関係の狭さ（職場、学校など所属先だけ）
- リアルな日本人との接点がない
- ヘルプしてくれる人がいない

孤立

OFP（おとなりさん・ファミリーフレンド・プログラム）のしくみ

半年間、直接活動する

- 日頃の生活情報や日本のことを伝える
- 地域のイベントと一緒に出かけ
- 日本語で会話する
- 友人のように相談にのる

おとなりさん
(ボランティア)



外国人参加者
(外国人住民)



おとなりさんペア

登録

登録

ボランティアへのサポート

- 定期的なフォロー
- サポーター研修
- 情報提供
- トラブル対応
- 交流イベント

コーディネーター
(JII)

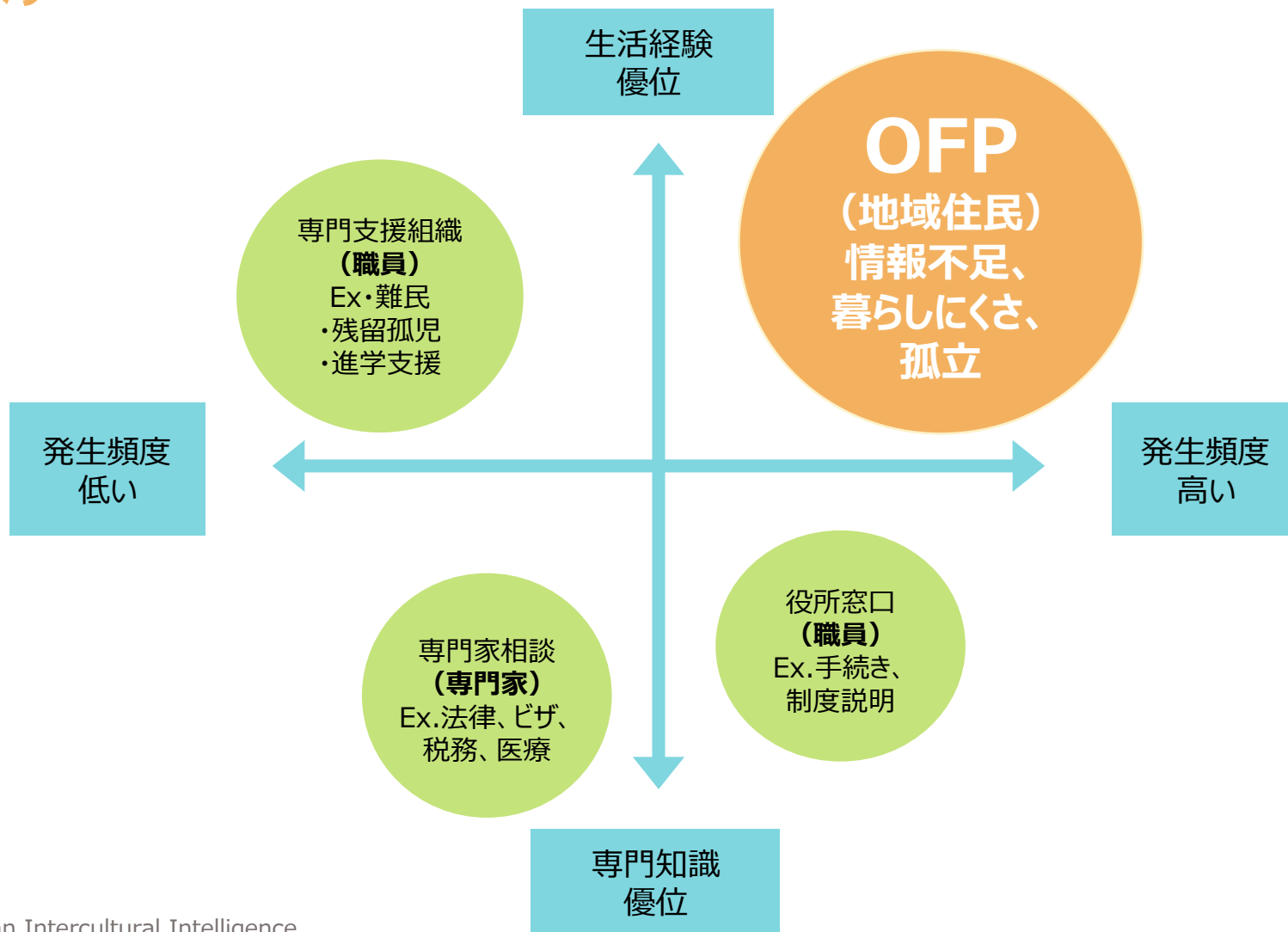
医師、弁護士、行政書士、税理士、
社労士、教員、看護師など専門家ネットワーク

参加者へのサポート

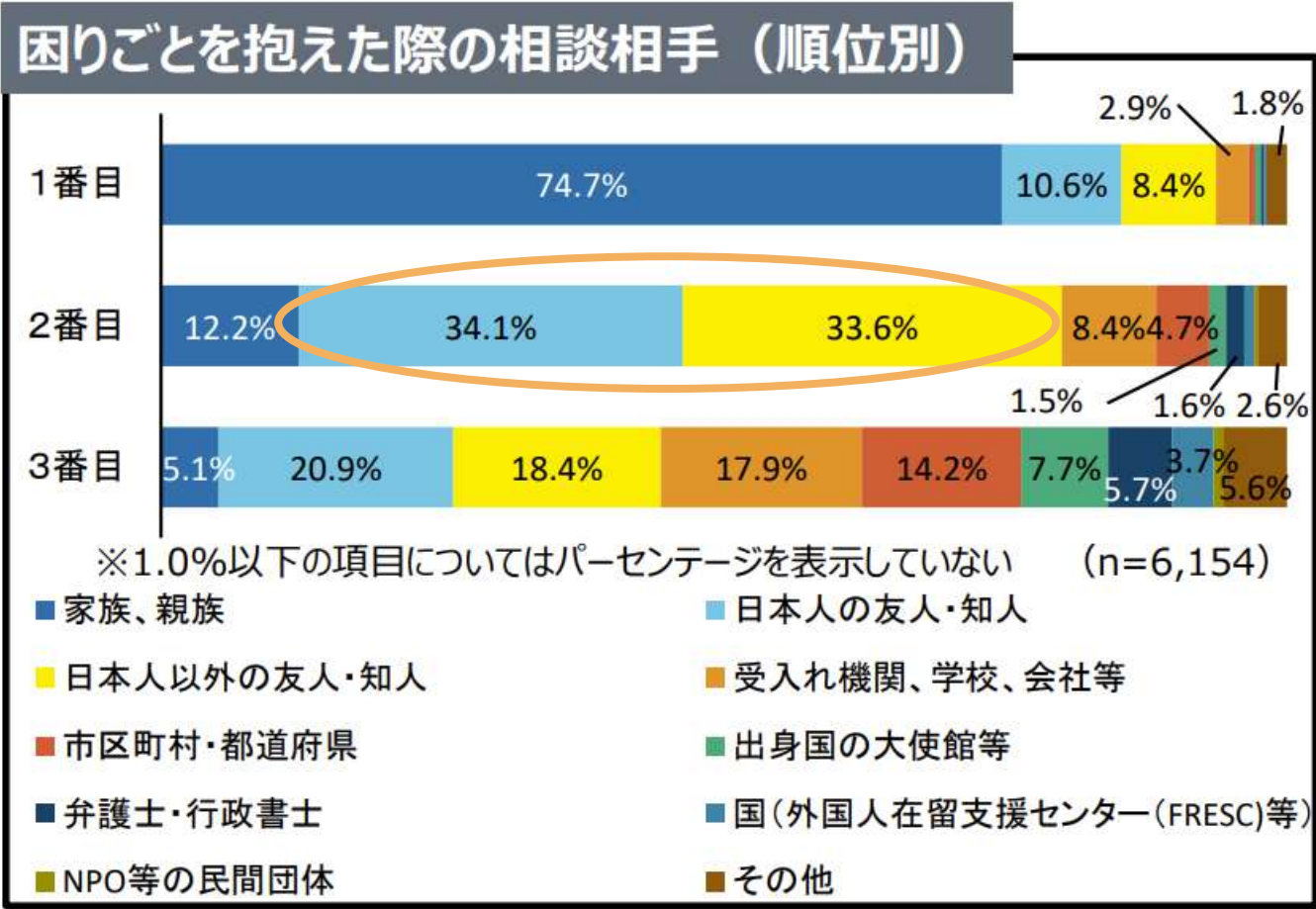
- 定期的なフォロー
- 生活に役立つ情報提供
- 相談窓口
- 専門家相談
- 交流イベント

外国人住民の困り事に対するOFPの位置づけ

見過ごされがちな様々な日常生活の困難に対し、地域住民の力を活かして解決をめざします



【参考】外国人住民の相談相手



- 相談先は、家族、日本人の友人・知人、日本人以外の友人・知人の順になっている
- 家族がいない方には知人友人が相談相手になっている
- 所属機関、役所、専門家、民間団体への相談まで何段階も経ている

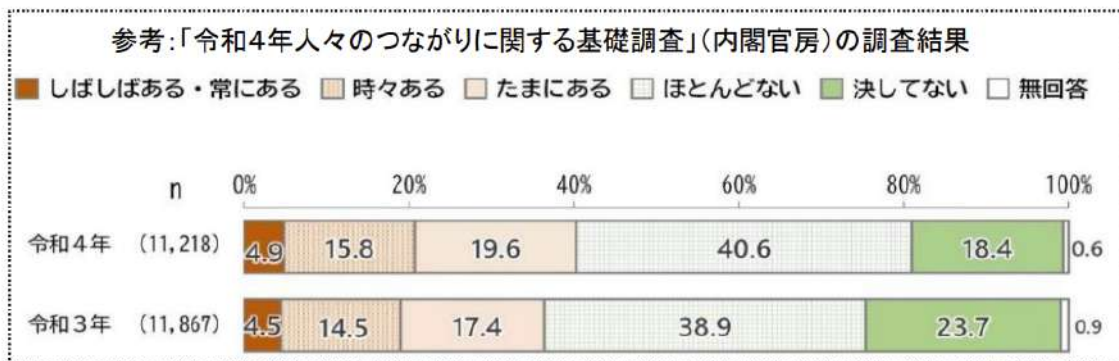
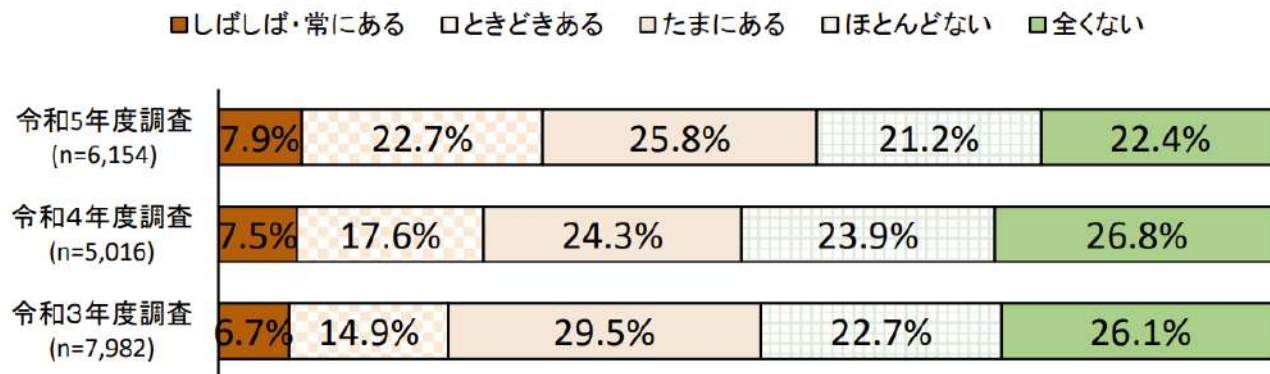


身近に相談できる友人を増やすことが最も支援につながりやすい

出典：令和5年度 在留外国人に対する基礎調査 N=6,154

【参考】外国人住民の孤独の状況

孤独の状況（あなたはどの程度、孤独であると感じますか）



出典：令和5年度 在留外国人に対する基礎調査 N=6,154

- 孤独を感じる外国人住民の割合が上昇傾向にある
- 孤独を感じる人が全体の56%を占める
- 日本人に比べて孤独の度合いが大きい



社会的・人的ネットワークの欠如が心理面にも大きな影響を与える

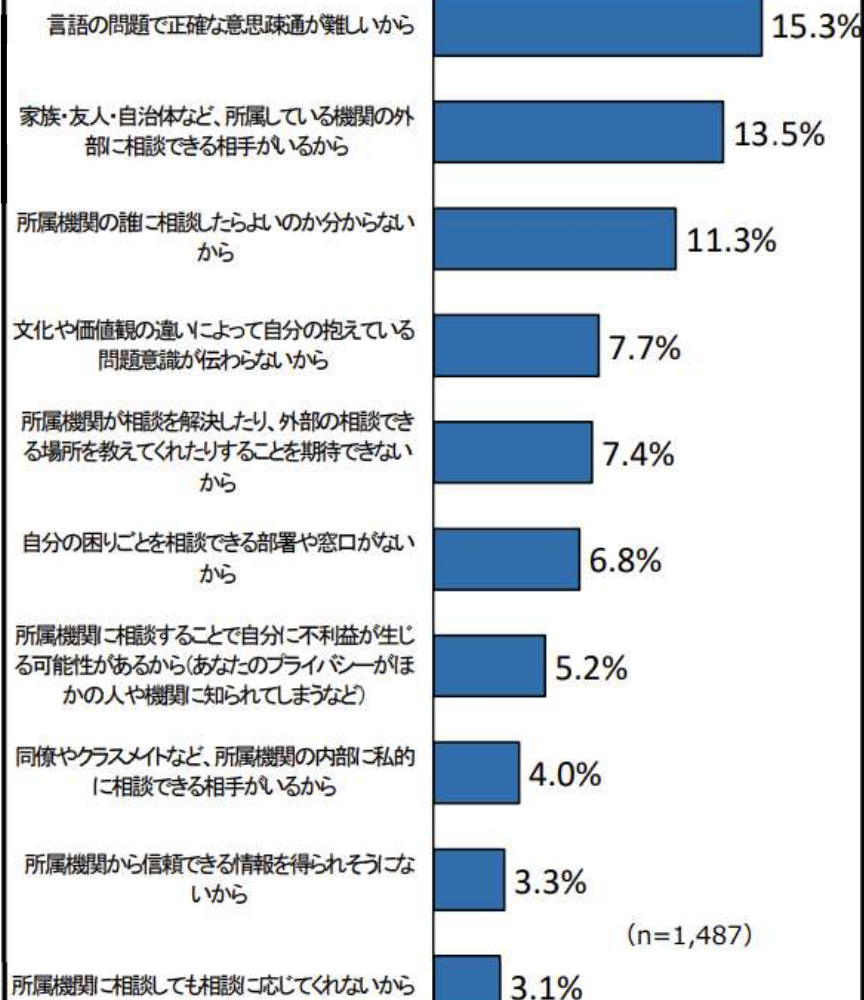
【参考】所属機関に相談しづらい

所属先があるから生活の問題はない
というわけではない

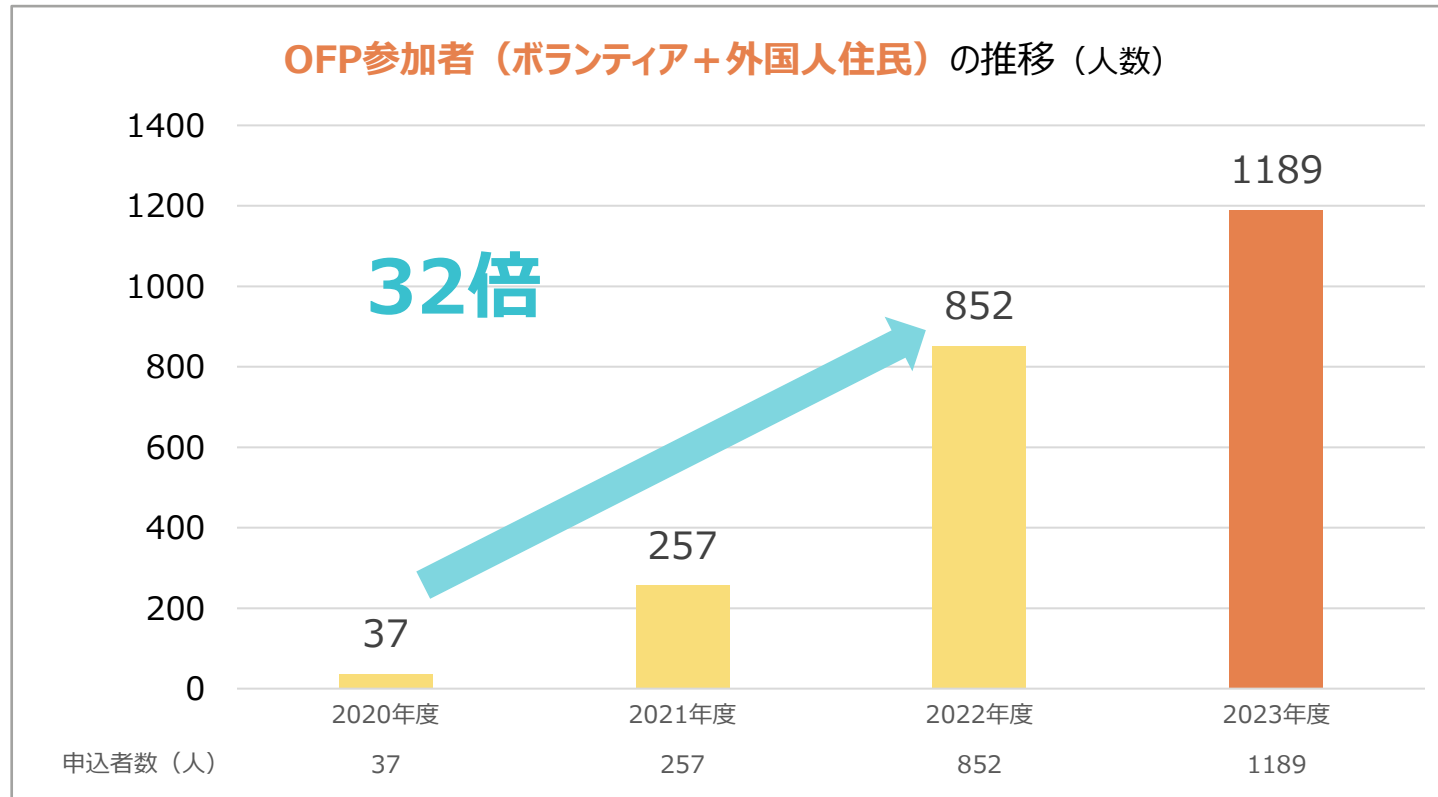
所属先以外のつながりづくりを促進
することは課題解決につながる

出典：令和5年度 在留外国人に対する基礎調査 N=6,154

所属機関等に相談しない理由



OFPの参加者が急増しています

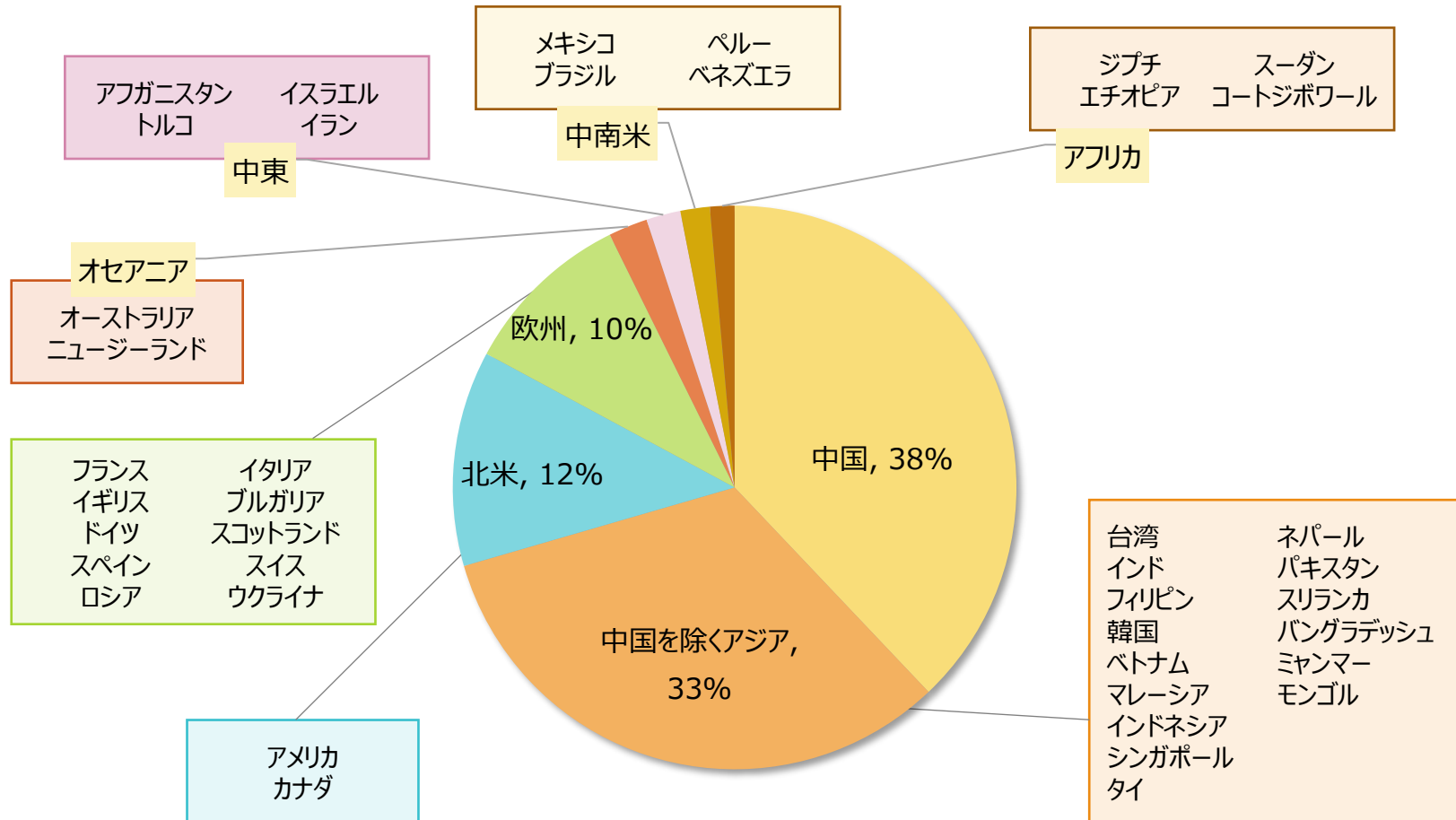


参加者の認知経路：

- ① 検索
- ② 参加者の口コミ

40か国・地域を超える外国人参加者

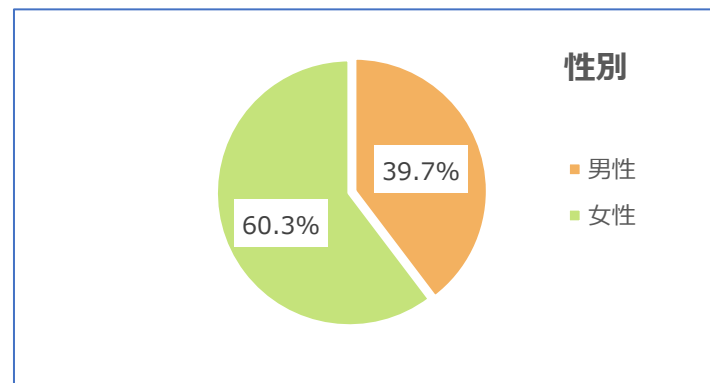
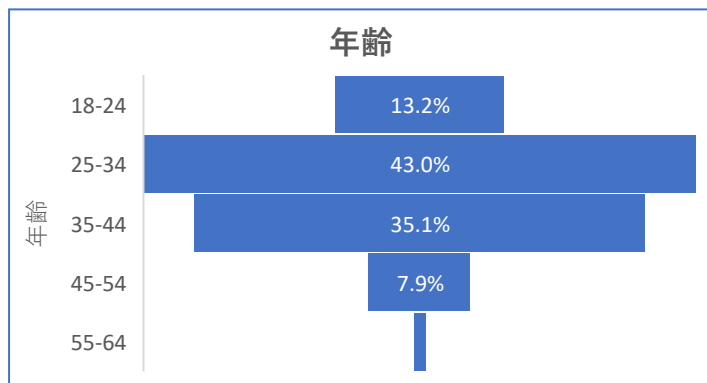
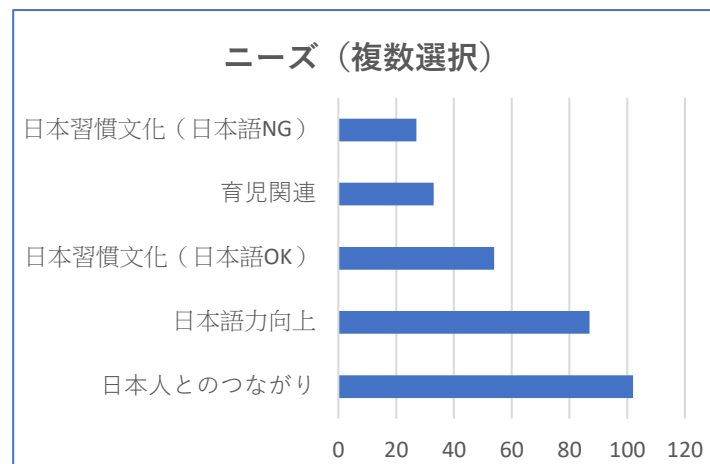
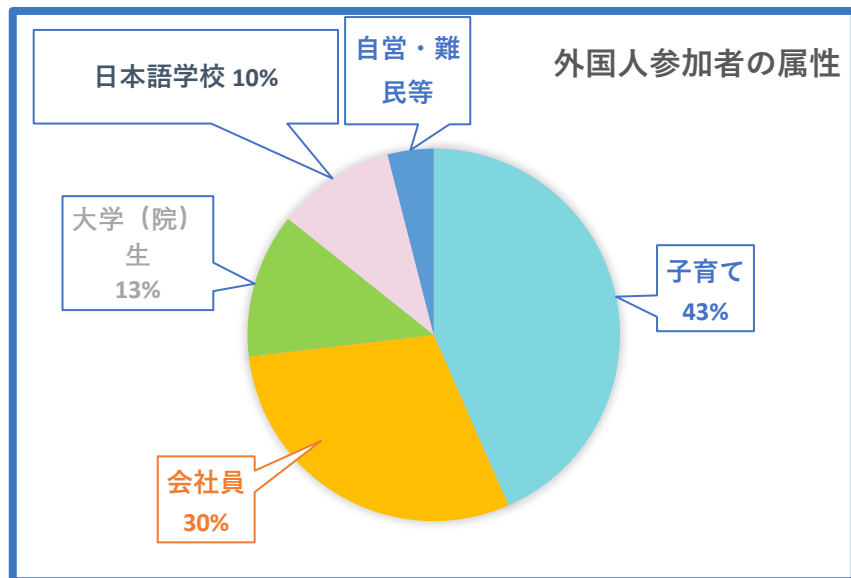
(アジア・北・中・南米、ヨーロッパ、アフリカ、中東)



アジアに限らず来日しているすべての外国人がJIIのサポート対象です

外国人参加者のペルソナ

- 20-40代、子育て世代及び働き盛りの世代が中心
- 子育て世代が4割を超える
- 日本語学習、生活へのなじみ、日本社会とのつながりを求めるニーズが強い



ボランティア（おとなりさん）の属性と参加動機

500+
おとなりさん

会社員	行政書士	シニア層
子育て中のママ	大学生	主婦
自営業	教員	日本語教師
	...	

18~70
歳

10+
ヶ国語

東京+

神奈川/さいたま/千葉

- **共感**
海外にいたときに現地の人に助けってもらったので、同じように日本に暮らす外国人に接したい
- **困っている人のヘルプ**
外国人は日常的に困ることをヘルプしたい
- **異文化理解、自己啓発**
異なる文化や考え方を知りたい、自分の視野を広げたい、語学力向上
- **子育て応援**
外国人ママを応援したい、子どもにグローバルな感覚を身に付けてほしい
- **日本語学習支援**
日本語習得をサポートしたい

参加者の声

外国人参加者（※日本語訳）



体験談公開中！



私のおとなりさんは毎週私の日本語の勉強をサポートしてくれました。宿題をチェックしてくれたり、日本語の会話の自然な表現を教えてくださいました。

OFPは私たちのような外国人が地域の文化になじんだり、言語のバリアを乗り越えるのをサポートしてくれるプログラムだと思います。(40代女性、マレーシア)

私のおとなりさんは、**ワクチン接種や娘の眼科受診の際に必要な複雑な書類を記入するのを手伝ってくれたり**など、大変な状況の時にいつもサポートしてくれました。職探しの情報も提供してくれ、ありがたかったです。彼女は私の人生で会ったなかで一番優しい人で、日本にでこのような方がいて嬉しいです。(40代女性、メキシコ)

おとなりさんは、**息子の出生証明書や私の結婚証明書の日本語訳を手伝ってくれたり**と、沢山サポートしてくれました。(30代男性、ジブチ)

私のおとなりさんは**インターンの面接や就職活動でアドバイスを**沢山くれました。(20代男性、中国)

信頼できるプログラムであり、**日本のスタンダードを理解している適切なおとなりさんを見つけることができます**」(30代、マレーシア)

私のおとなりさんはとても親切で、面倒見が良いです。観光地を案内してくれたり、国際交流イベントや日本人の新年会に連れて行ってくださいました。彼との交流を通して、**少しずつ日本社会に溶け込んでいる**気がします。(20代男性、中国)

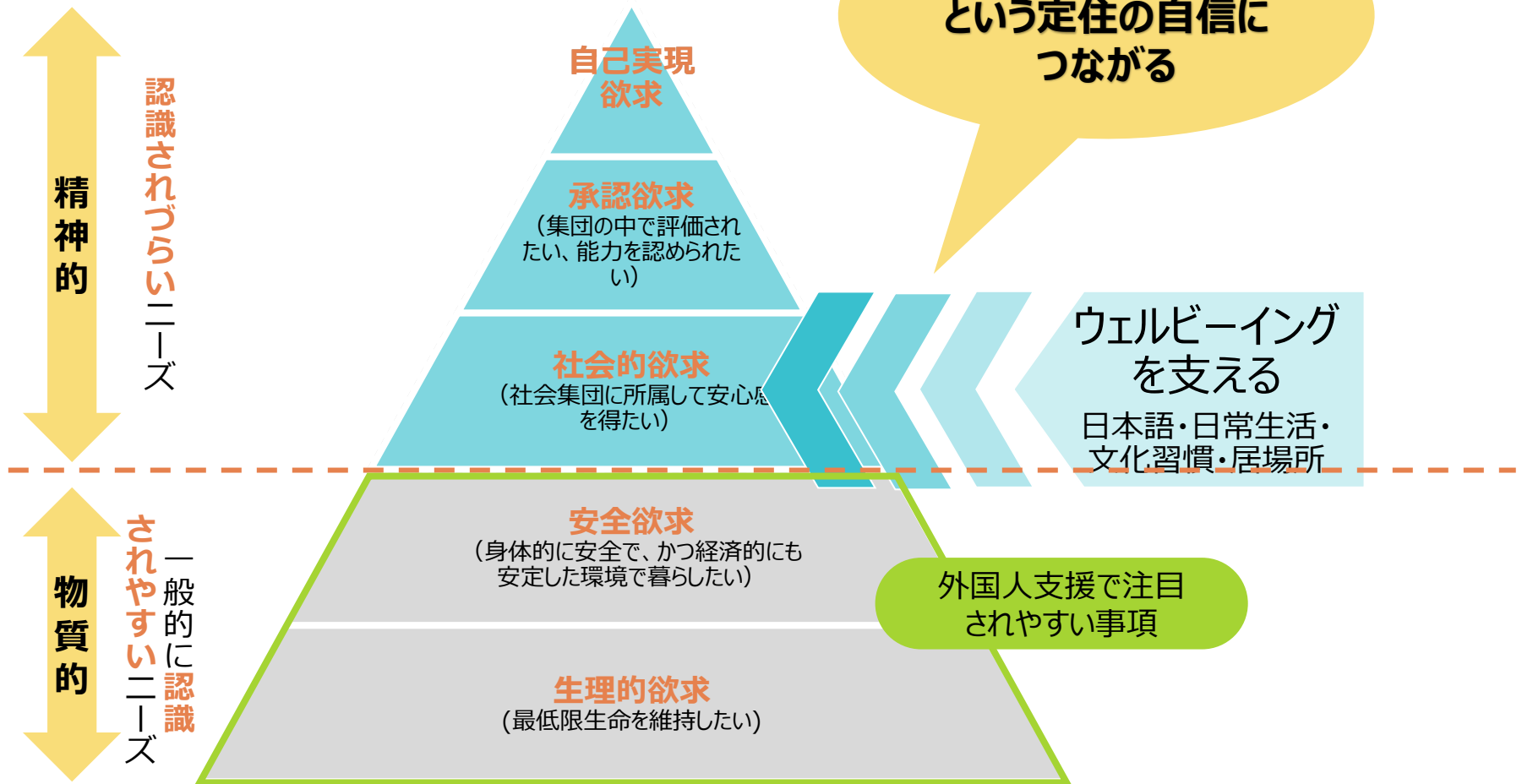
おとなりさんは**日本での日常生活や子育てにおいて、沢山アドバイスを**くれました。彼女との交流を通して私自身の日本語の練習にもなっています。最近では、日本の料理を学びたいと言ったら、料理の知識も共有してくれました。一緒に買い物に行って、彼女の自宅でとんかつと巻きずしを作るとっても楽しかったです。(30代女性、カナダ)

おとなりさんとはいつも**気を張ることなくお話**ができました。彼はプライバシーを尊重してくれ、言いたくないことは言わなくて良いんだと、安心してコミュニケーションが取れました。彼と友人になれてとても嬉しいです。(40代男性、アメリカ)

【おとなりさんボランティア】ペアの出身地である中国の事をご紹介いただき、**今まで知らなかった中国の細かい事を知る事が**できました。これをきっかけに、色々な事に興味を持ち勉強してみたいと思いました。また外国の文化を知るということは、自分の国の文化と比較する事になるので、**日本についても改めて学ぶ**ことが沢山あります。こういったことは自国の文化を守り育てるという意味でも、とても大切なことだと感じました。(50代女性)

外国住民にとってOFPの効果

社会の一員としてのウェルビーイングを支える



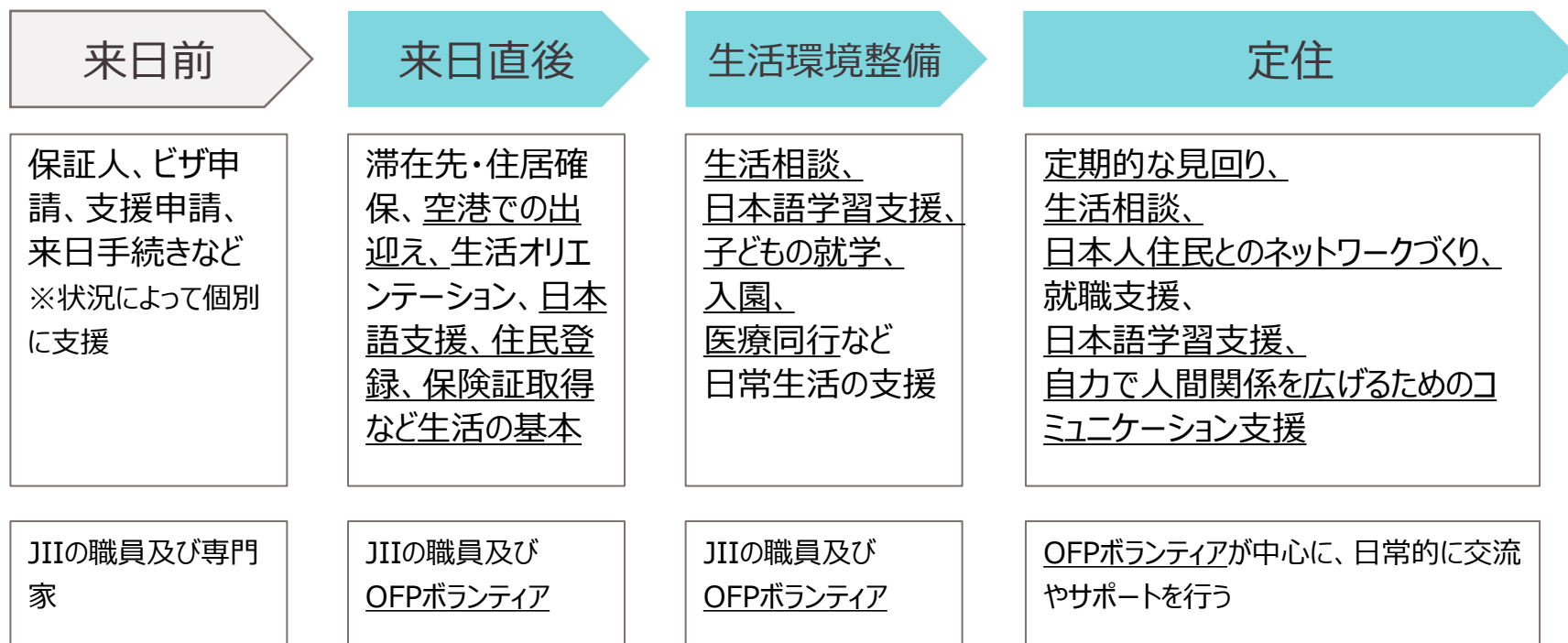
ネクステージ～今後のJIIのとりくみ

～日常生活の困り事の解決に特化したプラットフォーム「スポットおとなりさん」

スポットおとなりさんの始まり：難民・避難民生活支援

- 難民・避難民背景があっても、他の外国人住民と同じように、日本で自立し、日本社会になじみたいと願っています。
- 現状、難民に対する法的支援、一時的緊急支援がほとんどで、定住、社会になじむための支援が欠如しています。
- 定住フェーズに合わせて、難民・避難民に対して日常生活のにサポートもしています。

支援内容



解決したい課題及び効果

効果

外国人住民

- 外国人住民にとって、慣れない日本の社会システムに対して、積極的に情報収集し、判断することが大変難しい。行政情報を届けるには、身近に直接知り合いを作ることがとても効果的な手段と言える
- 具体的にサポートが必要な時に手伝う人が見つからない

安心できる
サポーターが
見つかる

公的支援

- 自治体間における対応政策の差が大きく、温度差も大きい
- 多言語相談窓口など一律的な対応が中心で、個々のニーズに合った支援が難しい
- 役所の中で行う支援が多く、支援の情報発信やアウトリーチが難しい

情報から解決
への具体的な
サポート

民間支援 団体

- 対象者別、地域別の支援が中心、横断的な支援が少ない
- 相談に対応できる職員・人材が著しく不足
- 相談者抱える問題が深刻化してしまった後の対応が多い

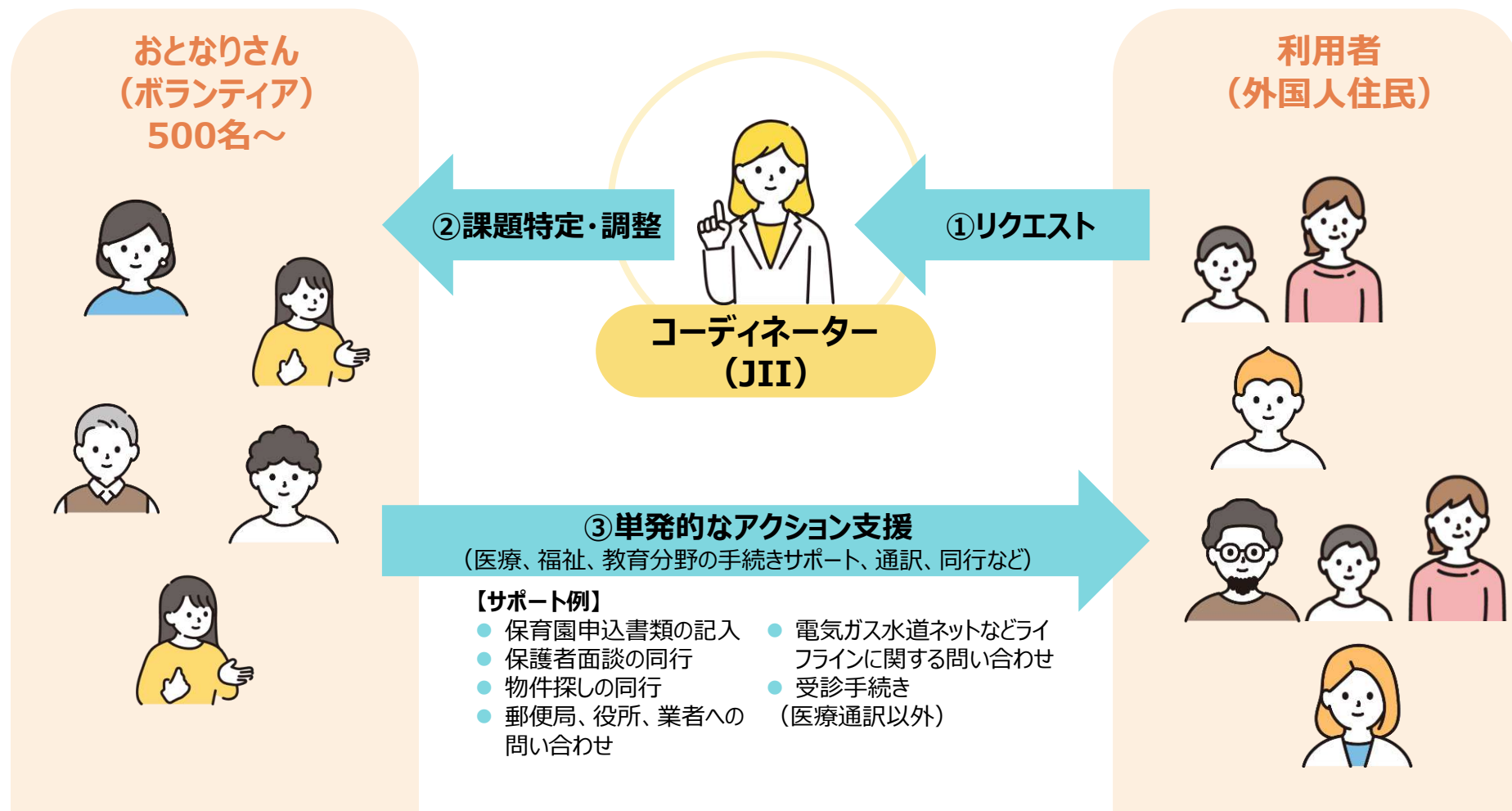
民間リソースの
最大限活用し
人不足を
解消・最適化

日本社会

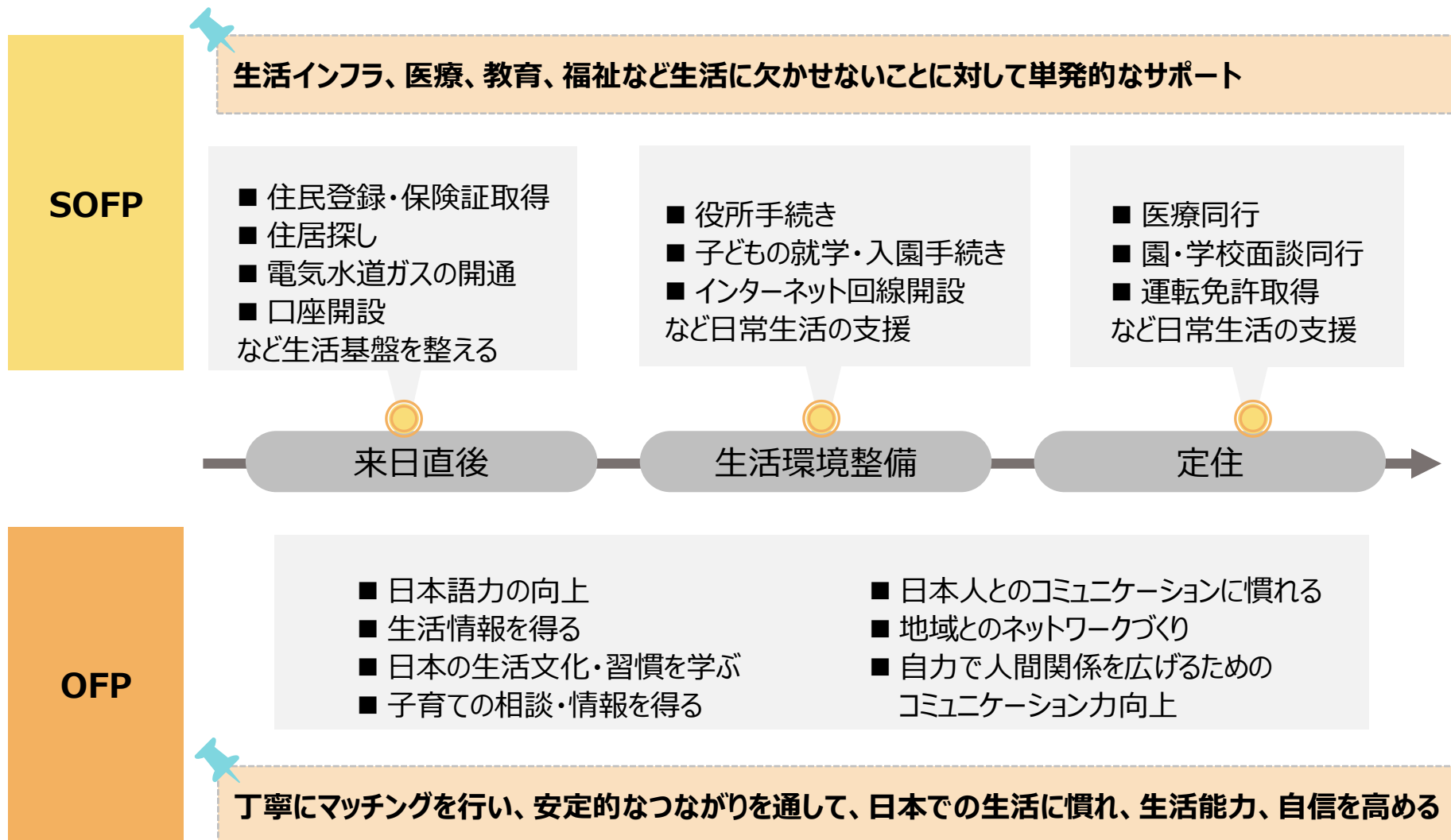
- 日本人住民と外国人住民が直接関わり機会が非常に少ない
- 日本人住民が外国人住民の生活実態を知らない
- 外国人住民との接触がないため、偏った情報に惑われやすく、不信感につながりやすい

相互理解・
直接関わる
きっかけ

ステップ1 スポットおとなりさん（SOFP）のしくみ

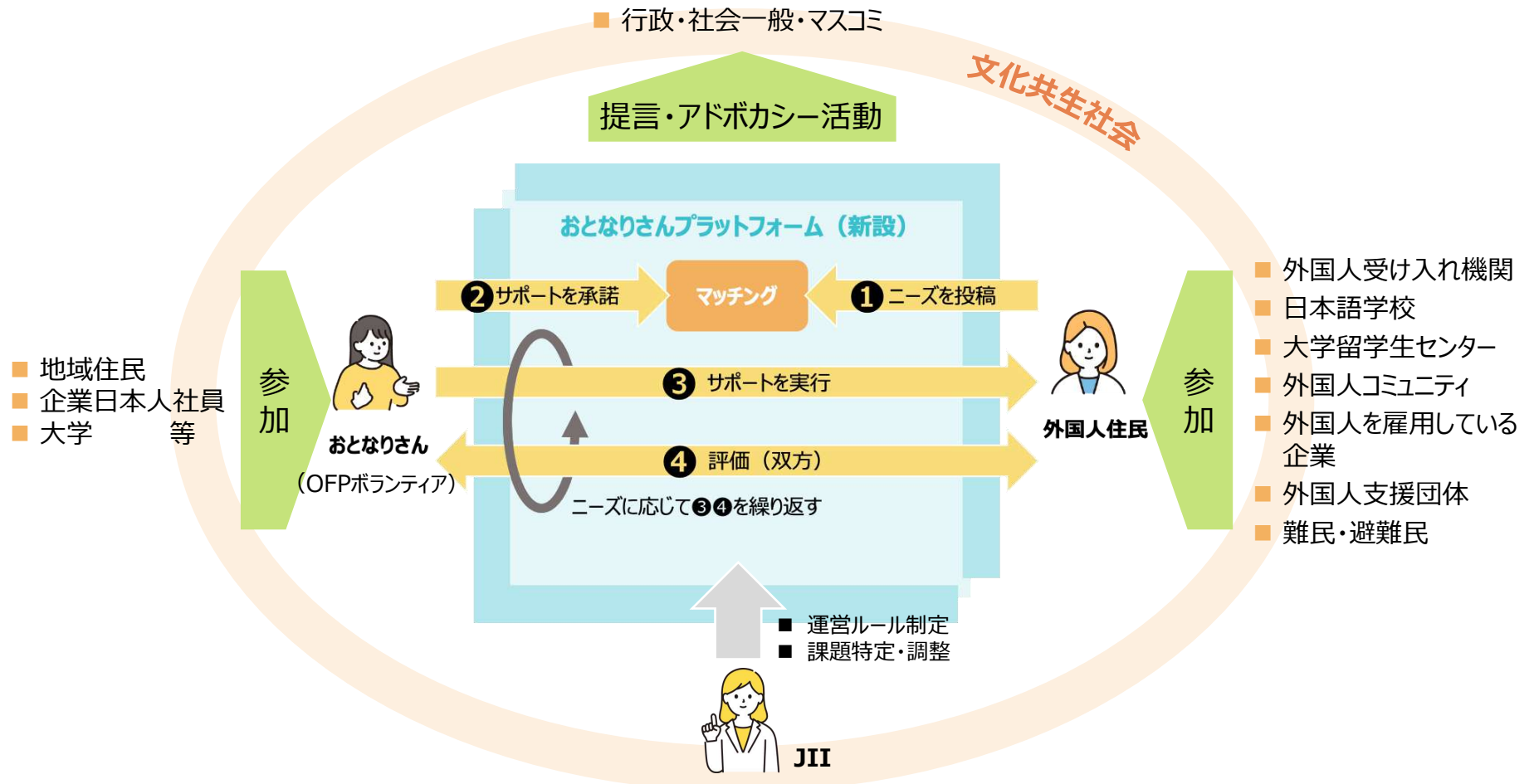


SOFPとOFPの活用例



将来的な広がり

プラットフォームを活用する外国人住人とOFPボランティアを増やし、ひとりでも多くの人が文化共生に目を向ける機会を持てる環境を実現します



企業の皆様をお願いしたいこと

社員向けプログラムの導入をご検討ください

(外国人社員・その家族、日本人社員)

- ① 福利厚生 日本社会になじむサポート (OFP + スポットおとなりさん)
- ② 生活ナビゲーション研修 (初めて日本に住む外国人社員・家族向け)
- ③ 人材育成 (日本人社員向け多文化共生・ダイバーシティ教育)

応援寄付キャンペーン 実施しております 12月24日まで

欲しい未来へ、
寄付を贈ろう。

NEW

OFPプラットフォーム構築 応援寄付キャンペーン



DONATE NOW!
~24.12.24

目標
200万円

ご近所の力を活かし、
外国人住民と心の通う関係をもっと多くの人に



ご支援をお願いいたします

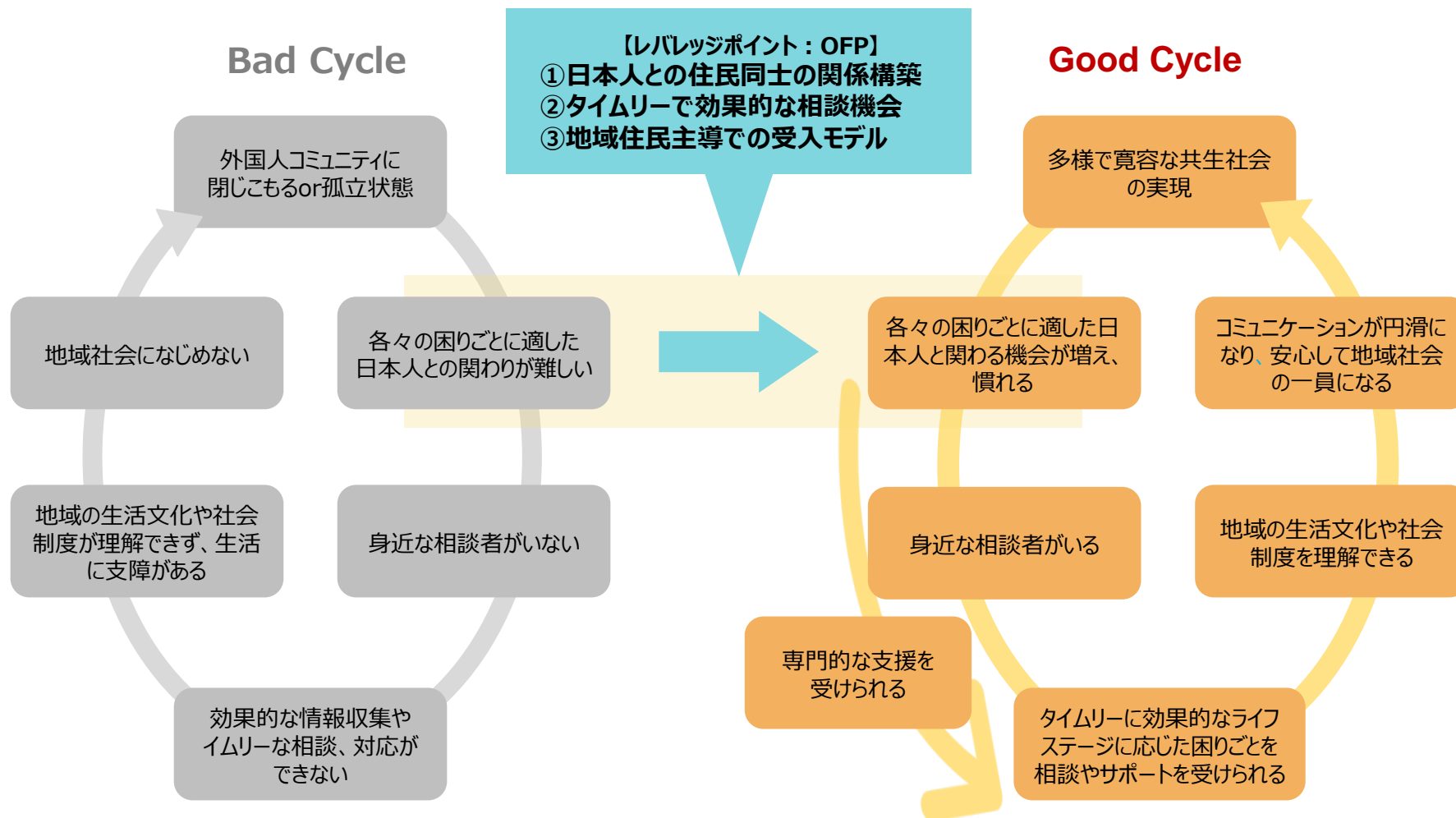


www.j-ii.org



【参考】セオリ・オブ・チェンジ①～外国人が「地域住民」としてなじむ

住民としてなじみやすくする具体的なサポート



【参考】セオリ・オブ・チェンジ②～日本人が「かかわり」からなじむ

相互理解を実感するリアルな機会の創出

